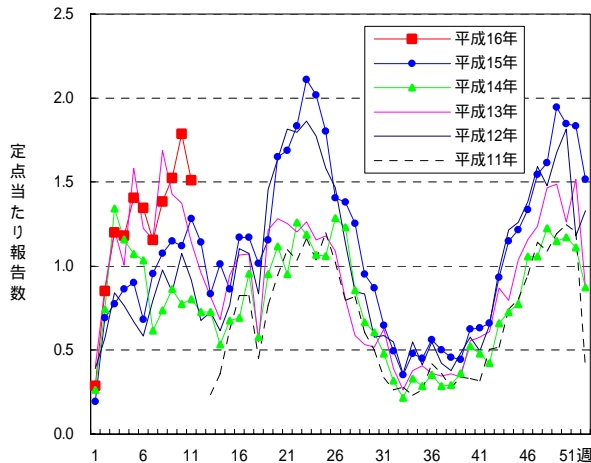
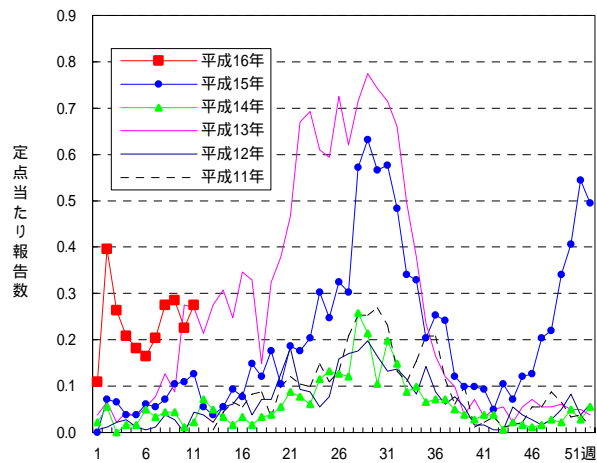


### 流行状況

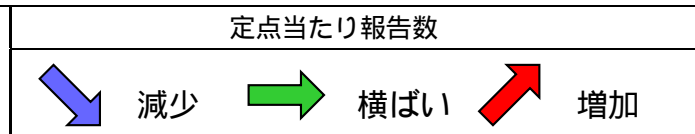
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



疾患名	前週	今週	備考
<u>インフルエンザ</u>	4.4 ↓	3.1 ↓	インフルエンザウイルスによる急性感染症で高熱、四肢疼痛、頭痛、全身倦怠感、食欲不振を主症状とする
<u>感染性胃腸炎</u>	8.3 →	7.9 →	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	1.8 ↑	1.5 ↓	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<u>水痘</u>	2.1 ↑	1.6 ↓	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人にうつる感染症
<u>咽頭結膜熱</u>	0.23 ↓	0.27 ↑	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症



(関連リンク)

愛知県衛生研究所における平成 15 年～16 年シーズンのインフルエンザの流行予測

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)

集団かぜの発生: 愛知県のホームページ記者発表資料 (<http://www.pref.aichi.jp/service/kisya/>)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

全国状況(感染症発生動向調査週報): 厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - ホームページ

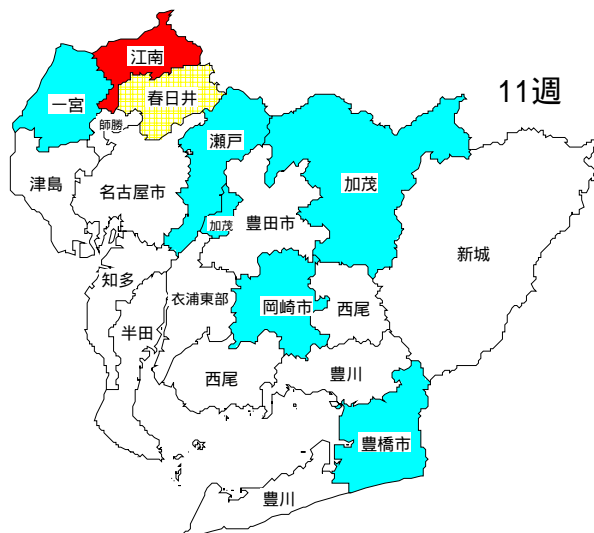
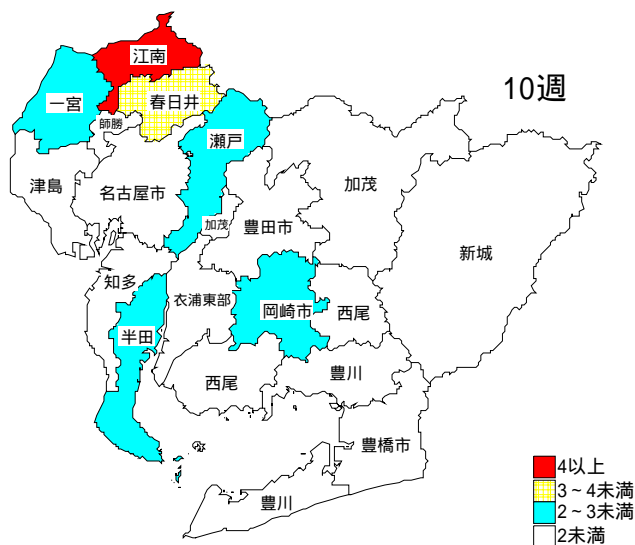
(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧下さい。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先: 052-910-5619

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

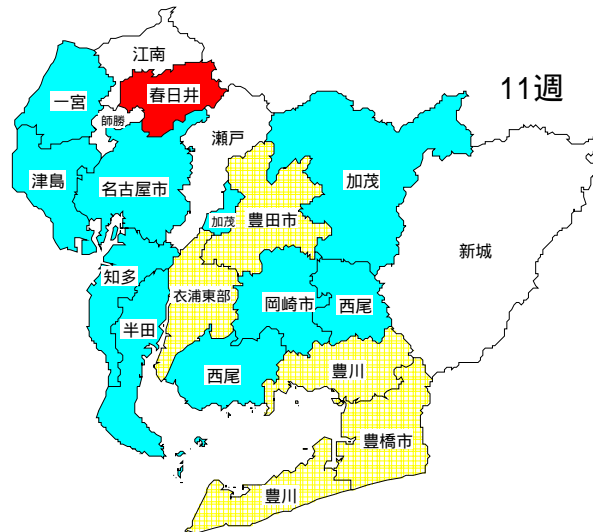
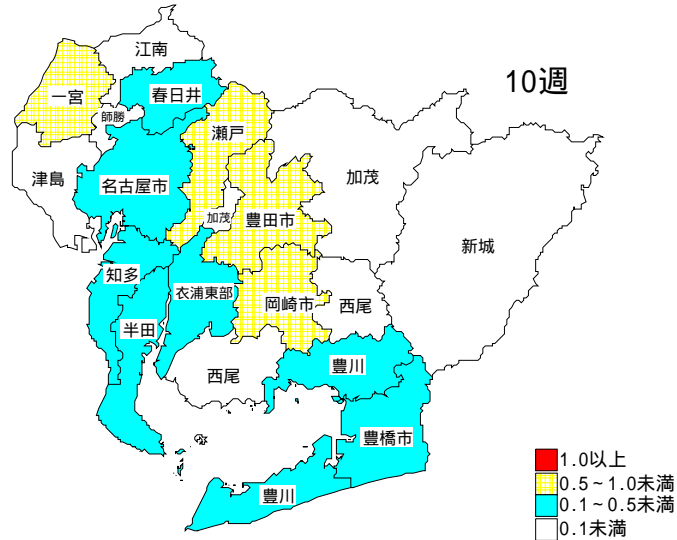


	11週	定点 当たり	10週	定点 当たり		11週	定点 当たり	10週	定点 当たり
名古屋市	68	0.97	98	1.40	岡崎市	16	2.29	19	2.71
瀬戸	26	2.89	24	2.67	衣浦東部	17	1.55	16	1.45
津島	4	0.57	7	1.00	西尾	5	1.00	7	1.40
師勝	3	0.75	4	1.00	豊田市	8	1.00	13	1.63
一宮	25	2.08	26	2.17	加茂	8	2.67	3	1.00
春日井	30	3.33	28	3.11	豊橋市	17	2.13	6	0.75
江南	○	28	45	7.50	豊川	6	0.75	4	0.50
半田	7	1.17	15	2.50	新城	1	0.50	0	0.00
知多	6	0.86	10	1.43					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行発生警報は保健所(市)定点当たり4.0人を越えた場合に発生し、2.0人を下回るまで継続しません。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

# 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	11週	定点 当たり	10週	定点 当たり		11週	定点 当たり	10週	定点 当たり
名古屋市	8	0.11	8	0.11	岡崎市	1	0.14	5	0.71
瀬戸	0	0.00	5	0.56	衣浦東部	6	0.55	2	0.18
津島	1	0.14	0	0.00	西尾	1	0.20	0	0.00
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	4	0.50	5	0.63
一宮	4	0.33	6	0.50	加茂	1	0.33	0	0.00
春日井	9	1.00	4	0.44	豊橋市	6	0.75	1	0.13
江南	0	0.00	0	0.00	豊川	5	0.63	3	0.38
半田	1	0.17	1	0.17	新城	0	0.00	0	0.00
知多	3	0.43	1	0.14					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## トピックス

### インフルエンザウイルス分離状況 集団発生事例からの B 型の分離

(平成 16 年 3 月 16 現在)

平成 16 年 3 月 16 日現在、感染症発生動向調査の目的で医療機関等から県衛生研究所に搬入された 175 検体から A 香港型インフルエンザウイルス 106 株、B 型インフルエンザウイルス 6 株が分離されています。集団発生については、1 月から 2 月にかけて 6 施設（瀬戸保健所管内小学校、師勝保健所管内小学校、豊橋市保健所管内小学校、加茂保健所管内中学校、知多保健所管内小学校、豊田市保健所管内小学校）から搬入された 52 検体から、A 香港型インフルエンザウイルス 19 株が分離されています。また、3 月 9 日には豊橋市保健所管内の小学校における患者 16 名、欠席者 9 名の集団発生が報告され、本事例の原因調査のために搬入された 10 検体から、B 型インフルエンザウイルス 4 株が分離されています。

また、公表されている最新のデータである平成 16 年 3 月 12 日現在の資料では、全国で A 香港型 3,249 株、A ソ連型 3 株、B 型 80 株が検出されています。

今冬、愛知県において分離されたインフルエンザウイルスの抗原性は、A 香港型についてはすべて今冬( 2003/2004 シーズン )のワクチン株の A/パナマ/2007/99 から若干の抗原変異がみられ、アメリカやヨーロッパで流行を起こしている福建(Fujian)タイプの A/熊本/102/02 と一致していました。A 香港型分離ウイルスの代表株を遺伝子解析した結果もこれを支持していました。また B 型は全て今冬のワクチン株と異なる山形系統でした。

インフルエンザ患者数の定点あたりの報告数から見ると、今シーズンの流行はほぼ終息したと判断されます。インフルエンザウイルス分離状況からは、A 香港型が流行の主流を占めていると考えられますが、定点病院の先生方からのコメントに迅速診断キットで B 型陽性例の報告が散見されています。散発的に報告されている B 型は今後大きな流行を起こす事はないと予想されますが、豊橋市の小学校の集団かぜの事例の様に春先にかけて局地的な流行を起こす場合もありますので注意して下さい。

また、検査定点の先生方におかれましては B 型が散見されていますので、引き続き検体を採取していただきますようお願い致します。

#### インフルエンザ

発生動向調査	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検体数	1	26	110	35	3	175
A 香港型	1	10	78	17	0	106
B型	0	1	0	4	1	6

集団発生	1月	2月	3月	合計
検体数	42	10	10	62
A 香港型	17	2	0	19
B型	0	0	4	4

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

インフルエンザはA型2例のみ

感染性腸炎 年齢の高い子にも少しみられます。

1歳男風疹 IgM抗体上昇で確認(保育園で感染したようです。)

【一宮市 あさのこどもクリニック】

病原性大腸菌O1 1歳女

病原性大腸菌O18 4歳男、2歳女、4歳女

病原性大腸菌O25 3歳女

便ロタ 小人3名

便アデノ 小人3名、大人1名

EBウイルス 10歳男

感染性胃腸炎はノロウイルスによるものも多いと考えております。

【尾西市 城後小児科】

インフルエンザ3名は同一家族内でした。

【一宮市 田中内科小児科医院】

インフルエンザB型が散発してきました。

【稲沢市 稲沢市民病院】

溶連菌感染症、感染性胃腸炎 まだ多くみられています。

流行性耳下腺炎も一部の保育園で流行しています。

インフルエンザはほとんどみられなくなりました。(1名のみ)

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザは著減しています。A型6例のみです。

溶連菌感染も目立っています。

ムンプスも続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

43歳女、9歳女 マイコプラズマ肺炎

1歳4ヵ月女 2人、3歳1ヵ月女 ロタウイルス(+)でした。

【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

ウイルス性(ロタを含む)胃腸炎、溶連菌感染症が多い。

水痘も目立ちます。

カンピロバクター腸炎+病原大腸菌O25 3歳女

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザは症例がなくなりました。流行は終了したと思われます。

今週もアデノウイルス感染症多数みられました。

マイコプラズマ肺炎も再び多くなりました。

今週から溶連菌感染症、水痘が目立つようになりました。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

---

インフルエンザ減少

胃腸かぜ多数

溶連菌感染症、水痘、ムンプスつづいています。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

溶連菌感染症、ムンプスが流行しています。

【春日井市 かちがわ北病院】

感冒性胃腸炎はロタ(+)、ロタ(-)両方流行している。

インフルエンザ減少し、アデノ感染増加

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザはA7例、B2例です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染症胃腸炎と水痘が多いようです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザA 1名

【半田市 医療法人林医院】

感染性胃腸炎流行中(ロタ陽性)

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

ロタウイルス腸炎 2名 胃腸炎の流行続いています。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

---

## 西三河地区

---

7ヵ月女、9ヵ月男女、1歳女、2歳男、3歳男、4歳女、5歳男 ラピッドテストロタ(-)

アデノ ロタ(+)

2歳男、6歳男 イムノカードSTアデノウイルス(+)

3歳女、6歳男 StrepA(+)

5ヵ月男 ディレクティジェンRSV(+)

1歳女、4歳女、5歳女、10歳男、29歳男 エスプラインインフルエンザA(+)

4歳男 エスプラインインフルエンザB(+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

3歳女 カンピロバクター菌

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

5歳男 病原性大腸菌O18

マイコプラズマ肺炎 1例あり

インフルエンザは殆んどいません。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

B型インフルエンザ 1名

A型インフルエンザ 1名

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院】

3歳女、4歳男、4歳女 イムノカードSTアデノウイルス(+)

6歳女 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 にいのみ小児科】

4歳女 病原性大腸菌 O25

インフルエンザはB型

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

全4例ともインフルエンザA型でした。

【岡崎市 栗屋医院】

---

手足口病 2 例は同胞例

【刈谷市 田和小児科医院】

感染性胃腸炎は引き続いています。溶連菌感染症増加傾向

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザ、感冒共にほとんどなくなりました。

インフルエンザ 2 人は父子で共に B 型

【安城市 医療法人鳥居医院】

インフルエンザ A 型 1 人、B 型 1 人

ロタ胃腸炎 5 人

【知立市 宮谷クリニック】

嘔吐、下痢は減少

【西尾市 やすい小児科】

B 型インフルエンザ 3 名

A 型インフルエンザ 1 名

流行性耳下腺炎が多くみられました。

【西尾市 山岸クリニック】

少数ですが、まだインフルエンザあります。

ロタウイルス腸炎多い。

伝染性紅斑、散発しています。

1 歳女 病原性大腸菌 O15 VT (-)

10 歳男 病原性大腸菌 O18 VT (-)

【幸田町 とみた小児科】

ロタウイルス 1 歳 女

感染性胃腸炎、溶連菌感染症が目立ちます。

インフルエンザは全て B 型です。

【三好町 三好町民病院】

---

## 東三河地区

---

溶連菌感染症と流行性耳下腺炎の児が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザ急増(前週比 4.5 倍ほとんど B 型)

【豊橋市 野村小児科】

咽頭結膜熱の兄弟あり

【豊橋市 富田小児科】

ロタウイルス性腸炎 外来・入院とも多い。

【豊川市 豊川市民病院】

ロタウイルス腸炎が増えてきました。

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

6 歳男 インフルエンザ B 型

【小坂井町 医療法人宝美会総合青山病院】

インフルエンザは殆ど B 型です。

【田原市 かわせ小児科】

## 一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告なし

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

後天性免疫不全症候群 1 例 (AIDS、推定感染経路：性的接触、推定感染地域：不明)

梅毒 2 例 (早期顕症 期：1 例、 期：1 例)

破傷風 1 例 (64 歳：10 週報の再掲)









